

五月十五日 (金曜)

- 出勤者八九四名、入場者安んじて業に従ひ不安なし。
- 工場協議會の委員にして資格喪失したる者の補充をなす。
- 午後争議團に於ては河上丈太郎の「彈圧法制の解剖」を聴講し、終つて約百名製鋼所に來り職工の退場を扼さんとせしも果さず。
- 解雇者及争議團員等の、矯激なる行動に出づるを慮り、警備の萬全を期す。

五月十六日 (土曜)

- 出勤者九〇四名を算し争議團に參する者最早百名を出でざるものゝ如し。
- 賃金受取に藉口して五十名余り製鋼所に來りて、此か暴行を働き三名檢束さる。
- 夜四貫島セツルメントに於て、全青年部主催の争議應接演説會開かる聴衆約三百。